第 5 章 siteserve

困ったときに

この章では、サイトサーブが提供するサービスについて、疑問やトラブルなどを解決するための手段や情報について説明します。

サイトサーブを利用する中で疑問に思ったこと、また何らかの原因でサイトサーブのサービスがうまく利用できないとき、本マニュアルやヘルプデスクで解決方法を調べることができます。このうち本マニュアルでは、「機能別インデックス」「よくある質問（FAQ）と問題解決方法」「用語集」を利用することができます。それでも解決しない場合、サイトサーブでは、電話やFAX、メールによるサポートを実施していますので利用してください。

1. サポートについて

契約内容の変更やサイトサーブの利用に関する質問がある場合、サポートセンターへのお問い合わせの前にまず確認していただきたいことについて説明しています。

1-1 契約内容の変更

変更したい契約内容によって、手続きの方法が違います。

- **メールアドレスの追加**
- **ディスクスペースの追加**
- **SSLサービスの利用申請**

それぞれ、サービスセンターで手続きを行うことができます。詳しくは本マニュアル「管理者編2章：各種管理と設定」を参照してください。

・サブドメインサービスの契約・解約
サービスセンターでの利用申請はできません。サイトサーブの契約を交わした販売代理店までお問い合わせください。

1-2 サイトサーブの利用に関する質問

変更したい契約内容によって、手続きの方法が違います。

【マニュアルで調べる】
「メールの設定方法が知りたい」など、知りたいことがはっきりしている場合は、「機能別インデックス」を参照してください。知りたいことが本マニュアルのどこで説明されているのかがわかります。また、本マニュアルのFAQでは、普段お客様から寄せられる質問のうち、特に多い質問とその解決方法を掲載しています。FAQの中に、お客様の質問内容に該当するものがあれば、そこで解決できます。

【ヘルプデスクで調べる】
サイトサーブに関する重要なお知らせや情報は、登録証記載の「ヘルプデスク」(http://help.(お客様のドメイン名))に掲載されます。また、ヘルプデスクからアクセスできる「オンラインマニュアル」「FAQ」には、サイトサーブの利用方法について、常に最新の情報が掲載されています。マニュアルには掲載されていない情報や設定方法が、こちらにあるかもしれません。

それでも解決されない場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

【サポートセンターに問い合わせる】
サイトサーブでは、無償サポートを実施しています。電話・FAX・メールで問い合わせることができます。サポートの営業時間、問い合わせ先に関しては、同封の添付書類を参照してください。
ただし、次の内容はお問い合わせの対象外となります。

- 本マニュアル、ならびにヘルプデスク・オンラインマニュアルに記載されている内容。
- パソコン本体・モデム・TA・パソコンソフトウェアなど、弊社製品、弊社サービスではないものの設定や使用方法。
- インターネット接続サービスプロバイダ、電話会社など、インターネット接続に関するサービスについて。
- オプションサービス追加や各種設定の変更など、お客様ご自身がサービスセンター画面から行う操作の代行依頼。
- お客様自身が作成したCGIプログラムの文法や、動作に関するご質問。
- お客様自身が作成したホームページ、htmlファイルの文法や、表示に関するご質問。

2. よくある質問（FAQ）と問題解決方法

ここでは、お客様から寄せられる質問のうち、
特に多い質問内容とその解決方法についてまとめています。
なお、「メールに関するFAQ」は「メール編」を参照してください。

2-1 サービスに関するFAQ

Q ホームページのURLアドレスを、はじめのwwwをつけないようにすることは可能ですか？

A www をつけないようにする（http://(お客様のドメイン名)/　にする）ことはできません。
サイトサーブでは、ヘルプデスクページにhttp://help.(お客様のドメイン名)、ウェブメールのページにhttp://webmail.(お客様のドメイン名)……などのアドレスを使用しています。そのため、ホームページアドレスにwww をつけない設定にすることが、システム上できなくなっております。また、インターネットの世界では、ホームページのURLアドレスには www をつけることが定着しています。サイトサーブでもその方向に基づき、サーバの設定をそのようにしています。ご了承ください。

Q サイトサーブでストリーミング配信は可能ですか？

A サイトサーブのサーバは、ストリーミング配信には対応していません。
ただし、次の方法で音声・動画を再生することができます。

1.ホームページ上で音声・動画ファイルを再生する
ホームページで音声・画像ファイルにリンクを設定し、アクセスした人がそのリンクをクリックすることで、ブラウザのプラグインが起動して再生できる場合があります。ただし動作保証はしておりませんのでご了承ください。

2.音声・動画ファイルをダウンロードして、再生してもらう
サーバ上にアップロードできるファイル形式には、特に制限はありません。アクセスした人に音声・動画ファイルをダウンロードしてもらい、再生ソフトを使って再生することはできます。

Q サイトサーブを利用するのにプロバイダはどこでもいいのですか？

A サイトサーブを利用する際に、プロバイダの制限はありません。どのプロバイダを利用しても問題ありません。

Q 専用線を利用したいのですが問題ありませんか？

A 専用線を利用いただく場合は、OCNエコノミーのように、DNSサーバを専用線業者で用意いただければ特に問題はありません。ただし、サイトサーブでは、専用線による特別な設定（逆引き設定）などは行なっておりませんので、契約前に、専用線業者に確認ください。

Q 登録証を紛失しました。どうすればいいでしょうか？

A 登録証を紛失された場合は、契約者情報を確認した後に再発送します。契約されたご本人、または契約内容を把握している代理の方（個人様の場合は契約者の身内、法人様の場合は社内の代理の方のみ）から、「登録証再発行の件」としてヘルプデスクにご連絡ください。

2-2 ホームページに関するFAQ

Q ホームページアップロード時に設定する「アカウント」と「パスワード」は何を使うのですか？

A 登録証に記載されている「管理者ユーザアカウント」と「パスワード」を使います。一般ユーザのアカウントとパスワードではアップロードできませんので注意してください。
ftpソフト別の設定方法については、オンラインマニュアル(http://help.(お客様のドメイン名)/manual/)を参照してください。

Q ホームページをアップロードしたのにトップページが表示されないのですが？

A 原因として、次の場合が考えられます。

1.トップページのファイル名が「index.html」または「index.htm」になっていない
サイトサーブでは、「http://www.(お客様のドメイン名)/」で表示されるファイル名は、「index.html」または「index.htm」になっている必要があります。トップページのファイル名が別の名前(top.htmlなど)になっている場合は、「index.html」または「index.htm」に変更するか、「http://www.(お客様のドメイン名)/top.html」のようにファイル名まで指定してください。

2.「index.html」と「index.htm」の両方がアップロードされている
この場合、index.htmlを優先して表示します。index.htmの方を表示させたい場合は、index.htmlを削除してください。

※なお、サイトサーブでは予め準備中画面(index.htm) がアップロードされています。特に必要の内場合は、上書き、削除していただいてかまいません。

Q ホームページにアクセスしたところ、「403 Forbidden」と表示されてしまいます。何が原因ですか？

A 「403 Forbidden」は、ディレクトリの中に「index.html」または「index.htm」がない場合にエラーとして表示されます。アクセスしようとしたディレクトリに「index.html」または「index.htm」ファイルが存在しているか確認してください。また、アクセスしようとしたディレクトリのパーミッション設定が初期値(755)以外に変更されている場合も、同じエラーが表示されます。ftpソフト(またはホームページ作成ソフトのftp機能)を使って、パーミッションを初期値に戻してください。

Q 「404 Not Found」と表示されてしまいます。何が原因ですか？

A 「404 Not Found」は、指定したURLアドレスのファイルが存在しない場合、エラーとして表示されます。ファイル名が全角文字になっていないか、または指定したURLアドレスが誤っていないかを確認してください。また、サーバ上ではファイル名の大文字・小文字は区別されます。指定したURLアドレスのファイル名と、実際のファイル名で大文字・小文字が違っていると、違うファイルを指定したとみなされて表示されません。

Q ホームページで、文字は表示されますが画像ファイルが表示されません。

A 原因として、次の場合が考えられます。

1.画像ファイルが正しいディレクトリにアップロードされていない
ftpソフト（またはホームページ作成ソフトのftp機能）を使って、表示されない画像がサーバ上の正しいディレクトリにアップロードされているか確認してください。違うディレクトリにアップロードされている場合は、正しいディレクトリに移動してください。

2.ホームページ上での画像ファイルの指定と実際の画像ファイル名が一致していない
ホームページ上で画像を指定している部分(テキストエディタでhtmlファイルを開くと、<img src="xxxx.xxx">と記述されている部分)を確認して、その画像ファイル名とサーバ上にアップロードされている画像ファイル名が一致しているかご確認ください。サーバ上では、ファイル名の綴りだけではなく、大文字・小文字の違いも区別されます。例えば、top.gif、top.GIF、TOP.GIF、TOP.gif は全て違うファイルとして認識されます。必ず大文字・小文字まで実際の画像ファイル名と同じにしてください。

3.ファイル名やディレクトリ名に、全角文字または日本語が使われている
例 **トップ.gif**
<img src="C:マイドキュメント\top.gif">
このようなファイル名やディレクトリ名の場合、パソコン上では表示されますがサーバ上では表示されません。ファイル名・ディレクトリ名を半角英数字に変更してください。

4.画像ファイルをアップロードする際にASCIIモードで転送している。
ファイル転送にはASCIIモードとバイナリモードの2種類がありますが、画像ファイルの転送にはバイナリモードを使います。再度バイナリモードでアップロードしなおしてください。最近のFTPソフトでは自動的に判別しアップロードできますので通常は意識する必要はありません。
転送モードの設定方法については、ご使用のソフト付属のマニュアルなどをご覧ください。

Q FrontPage Server Extensions を設定することは可能でしょうか？
CGIを使わずに掲示板、アクセスカウンターを使いたいのですが。

A FrontPage Server Extensions には対応しておりません。また、今後サポートする予定もありませんので、ご了承ください。掲示板やアクセスカウンターは、弊社が用意したものであればCGIの知識がなくても簡単に使用できます。詳しくは「管理者編3章：CGIの利用」を参照してください。

Q ASP(Active Server Pages)を利用することは可能でしょうか？

A ASP(Active Server Pages)には対応しておりません。また、今後サポートする予定もありませんのでご了承ください。

Q データベースを利用することは可能でしょうか？

A サイトサーブでは、サーバ用のデータベースアプリケーションを用意していません。また、お客様がサーバにアプリケーションをインストールしたり、特殊な設定をすることはできません。
ただし、インターネットなどで公開されているCGIプログラムの中には、サーバ上でデータベース機能を実現するものがいくつかありますので、それをサイトサーブ内に自分で設置することはできます。

Q ホームページの転送ができません。

A 次の項目をご確認ください。

1.パソコンはインターネットに接続されていますか？
接続されていない場合は、インターネットに接続してから再度転送してください。

2.サーバ(ホスト)名は登録証記載のウェブサーバですか？
サーバ(ホスト)名の入力ミスはありませんか？

3.ユーザ名(またはユーザアカウント)は登録証記載の管理者のユーザアカウントになっていますか？
また、ユーザアカウントの入力ミスはありませんか？

**4.パスワードは、登録証記載の管理者のユーザパスワードになっていますか？
また、パスワードの入力ミスはありませんか？**

5.ファイルの転送先はログインディレクトリ(docs)ですか？
ftpソフトの初期設定でディレクトリの設定をしている場合は、転送先ディレクトリを空欄にしてください。空欄にすることで、自動的にdocsディレクトリにログインできます。

Q 転送したホームページが表示されません。

A まずは「管理者編3章：5ホームページの公開(アップロード)」を参照して、手順を確認してください。それでもうまくいかない場合は、次の項目を再度確認してください。

1.ファイルの転送先はログインディレクトリ(docs)ですか？
ftpソフトの初期設定でディレクトリの設定をしている場合は、転送先ディレクトリを空欄にしてください。空欄にすることで、自動的にdocsディレクトリにログインできます。

2.トップページとなるファイル名は、「index.html」または「index.htm」となっていますか？
「http://www.(お客様のドメイン名)」(例：http://www.estore-jp.com)で表示されるファイルは、「index.html」または「index.htm」です。他のファイルをトップページにしたい場合は、「http://www.(お客様のドメイン名)/ファイル名」(例：www.estore-jp.com/top.html)というように、ファイル名まで指定すれば表示されます。

3.転送されているファイル名(画像も含む)は半角英数字になっていますか？
全角文字・日本語などがが入っている場合は正しく表示されません。ファイル名は半角英数字で設定してください。

Q 今まで動いていたCGIが動作しません。

A まずは「管理者編3章　7-1　自作CGIプログラムの利用」を参照し、各設定項目が正しく設定されているかどうか確認してください。それでもうまくいかない場合は、次の項目を再度確認してください。なお、お客様が設置されたCGIプログラムについては、サポート対象外とさせていただいています。ご了承ください。

1.CGIをアップロードするディレクトリに間違いはありませんか？
CGIをアップする場所は、ログインディレクトリ(docs)の一つ上にあるcgi-binディレクトリを推奨しています。それ以外のディレクトリでCGIプログラムを動作させる場合は、あらかじめ.htaccessファイルで設定する必要があります。設定方法は「管理者編3章　8.自作CGIプログラムの利用」を参照してください。docs内のディレクトリでCGIを利用する場合は、ディレクトリ名をcgi-bin以外にしてください。

2.設置したCGIの実行アドレスに間違いはありませんか？
cgi-binディレクトリにアップロードした場合の実行アドレスはhttp://www.(お客様のドメイン名)/cgi-bin/(cgiファイル名)　です。その他のディレクトリにアップロードした場合は、ディレクトリ名の指定が正しいかどうか確認してください。

例 **http://www.estore-jp.com/cgi-bin/test.cgi**

3.CGIプログラム中の、Perl のパス指定に間違いはありませんか？
Perl のパス指定は「/usr/local/bin/perl」です。

4.ファイルのパーミッションは755(rwxr-xr-x)に設定していますか？
755以外のパーミッションでは動作しません。ftpソフト(またはホームページ作成ソフトのftp機能)を使用して、必ず755に設定してください。

5.cgiファイルの転送モードはASCIIモードになっていますか？
転送モードを自動判別しないftpソフトの場合は、手動でASCIIモードにしてから転送してください。

6.文字コードはEUCを使用していますか？
CGIプログラムで2バイト文字（漢字や全角英数字・記号など）を処理する場合、EUC以外の文字コードを使用するとエラーの原因となることがあります。

Q サンプルファイル(http://www.(お客様のドメイン名)/sample.html)が表示されません。

A 他のファイルは表示されるのにサンプルファイルだけが表示されない場合、お客様がホームページのアップロード（ダウンロード）中に誤って削除した可能性が考えられます。弊社にて復旧しますので、ヘルプデスクまでご連絡ください。

Q サーバ上にすでにファイルやフォルダがあるのですが、何のために使うのでしょうか？

A サーバ上に最初からあるファイルやフォルダは、CGIプログラムを動作させたり、ホームページのアクセス状況を記録したりするためのものですので、移動・削除しないように注意してください。なお、フォルダの構成や内容については、「管理者編3章　1-3　サーバのディレクトリ構成について」を参照してください。

2-3 CGIに関するFAQ

Q cgi-binディレクトリへ移動することができないのですが？

A cgi-binディレクトリは、ログインディレクトリ（docsディレクトリ）のひとつ上にあるため、ftpソフト（またはホームページ作成ソフトのftp機能）によっては移動できない場合があります。この場合、ftpソフト（またはホームページ作成ソフトのftp機能）の転送先ディレクトリ（またはリモートディレクトリ、アップロードフォルダ、など）を「/」（半角スラッシュ）に設定してください。ログインディレクトリがひとつ上になり、cgi-bin ディレクトリが表示されるようになります。ただし、アップロード機能しかないFTPソフトでは設定を変更してもアクセスはできません。
ftpソフト（またはホームページ作成ソフトのftp機能）の設定方法に関しては、オンラインマニュアル（http://help.(お客様のドメイン名)/manual/）を参照してください。

Q 自作CGIプログラム（またはサイトサーブに設置されていないCGIプログラム）を利用したいのですが？

A サイトサーブでは、お客様独自のCGIプログラムをご自由に設置することができます。ただし、お客様が設置されたCGIに関しては、「管理者編3章：CGIの利用」に記載されている内容以外はサポート対象外とさせていただいています。あらかじめご了承ください。

Q ホームページから入力してもらった内容をメールで受け取るには、どうしたらいいのですか？

A サイトサーブでは、あらかじめ「フォームメール」というCGIプログラムが設置されています。フォームメールを使うと、ホームページの入力画面で入力した内容が、CGIプログラムによって指定されたメールアドレスに送信されます。フォームメールの概要や設置方法については、「管理者編3章：3 フォームメール」を参照してください。

Q アクセスカウンターのカウントが上がらないのですが？

A サイトサーブのアクセスカウンターは、ページの読み込み回数ではなく、訪問者数（IPアドレス）をカウントするようになっています。続けてページを再読み込みしても、カウント数は上がりません。また、表示されるアクセス数を任意の数字から開始したい場合は、アクセス数が記録されているファイルを編集します。詳しくは「管理者編2章：2-3　アクセスカウンタの数値の変更」を参照してください。

Q sendmail は使用できますか？

A ご利用いただけます。
サイトサーブでは、「qmail ver.1.03」をメールユーティリティとして使用しています。機能はsendmail とほぼ同じです。パスは　/usr/lib/sendmail　です。正常に動作しない場合、プログラム中の　sendmail　の　オプションを取ると動作する場合がありますので、「$sendmail -n -t」を「$sendmail -t」または「$sendmail」に変更してください。

Q 「503 Service Temporarily Unavailable」のエラーが表示されるのですが？

A アクセスが多い場合、このエラーが表示されることがあります。
サイトサーブではひとつのサーバ機器を複数のお客様で利用していただいていますので、アクセス集中でサーバ機器にトラブルが起きた場合、機器を共有されているお客様全員がサイトサーブを利用できなくなってしまいます。そのため、アクセスが集中した場合はアクセス制限を設け、サーバトラブルが起きないようにしています。このエラーは、CGIの処理に時間がかかるチャットや、大きいサイズの画像を表示させようとした場合などに多く起こります。もし普通のホームページの表示でこのエラーが表示される場合は、htmlファイルやそこから呼び出している画像ファイルなどのサイズを減らしてください。また、複数のサーバに同じページをアップロードし、アクセスを分散させることでもエラーが起きにくくなります。

なお、詳しいアクセス制限値に関しては、現在非公開とさせていただいております。サーバのメンテナンスや管理、修正モジュールの導入といった改善策で制限値もしばしば変わるため、一概に公開することは現段階ではできません。ご了承ください。

Q 以前のサーバで利用していたCGIプログラムが動作しないのですが？

A 以前お使いのサーバとサイトサーブのサーバで、Perlのパスなどが違っている場合があります。サイトサーブのサーバの仕様に関しては、「管理者編3章：7-1　自作CGIプログラムの利用」を参照してください。なお、お客様自身が設置されるCGIに関しては、弊社ではサポートしていません。あらかじめご了承ください。

Q sendmailなどを利用してメールの配信を行う場合、配信制限はございますか？

A 配信数の制限はありません。ただし、１通ごとに１秒以上の間を置いて送信するよう設定してください。また、１回に送信する容量は、１００ＫＢを限度としてください。

以上を守っていただいた場合でも他のお客様に迷惑が及ぶ場合は、そのプログラムの停止、またはサーバの停止、アカウントの削除を行う場合もありますのでご注意ください。なお、お客様ご自身が設置されるCGIに関しては、弊社ではサポートしていません。あらかじめご了承ください。

3. 禁止事項

**サイトサーブの利用にあたって、次に挙げる事項は禁止しています。
これらを逸脱した場合、利用停止、または中止をすることがあります。**

3 - 1 規約による禁止事項

規約により、次の行為は禁止されています。

第6条(禁止される行為)
契約者は、以下の項目を成し得ないものとします。
(1)他の契約者のアカウント、パスワードを不正に使用すること。
(2)他の契約者または第三者に迷惑、不利益を与える等の行為、本サービスに支障をきたすおそれのある行為、その他提供者が不適当と判断したもの。
(3)電子メールの転送先を提供者指定の数を超えて設定する行為。
(4)提供者及び第三者の著作権、肖像権、その他権利を侵害する行為。
(5)提供者及び第三者への誹謗、中傷、プライバシーの侵害。
(6)わいせつ等、公序良俗または法令に違反する行為。

3 - 2 法令関連

一般法令ならびに公序良俗に反する行為、及び著作権侵害は約款で禁止されています。これらに抵触、侵害あるいはその恐れがある場合は、サービスの提供を停止します。

3 - 3 逆解析・アタック

サーバ上のプログラムの逆解析、盗用ならびに、サーバ機器やネットワーク回線に意図的に悪意の負荷をかけることは禁止されています。また、意図的ではない場合でも、サーバ機器やネットワーク回線に過大な負荷を与える場合は、一部利用を制限する場合があります。

4. メインテナンス

サイトサーブでは、安全で安定したサービスを提供するために、
不定期にメインテナンスを実施しています。
また、障害など緊急を要する場合には、
予告なしに緊急でメインテナンスを実施する場合もあります。
あらかじめ、ご理解のうえ、ご了承くださいますよう、よろしくお願いいたします。
通常のメインテナンスを実施する場合は、ヘルプデスクページに、
事前に日時や現象、影響する範囲をお知らせします。
また、メンテナンスのお知らせは、管理者メールアドレス宛てに配信しています。
メールで受け取る場合は、ウェブメールを利用するか、
メールソフトに管理者メールアドレスのアカウントを登録してください。

5. 用語集

本マニュアルで使われているコンピュータ・インターネット用語について説明しています。見出しの右に【サイトサーブ】とついているものは、サイトサーブだけで使われる用語です。

ADSL(Asymmetric Digital Subscriber Line)

既存の電話用銅線ケーブルを使う高速デジタル伝送方式の一種で、ISDNの約10倍の高速伝送が可能。主にインターネットへの高速アクセス回線として利用されている。日本では東西NTTや一部プロバイダがADSLサービスを提供している。

CGI(Common Gateway Interface)

ウェブサーバ上で外部のアプリケーションと連携する機能のこと。
CGIを利用したページでは、外部のアプリケーションと連携して、アクセスしてきた人の選択や入力した内容に応じて処理を行い、その都度違った結果を表示することができる。アクセスカウンター、チャット、掲示板、アンケートフォームなどに利用される。外部のアプリケーションには、「Perl」というスクリプト言語で書かれたプログラムが主に利用される。

ftp(File Transfer Protocol)

ネットワーク上でファイルを転送するための手順。この手順を使ってファイルを転送するためのソフトをftpソフトという。最近のウェブブラウザはftp機能を備えているものも多い。

ftpソフト

ftpクライアントともいう。ネットワーク上のサーバにアクセスし、ファイルを転送するためのソフト。転送するための手順にftpを利用するため、この名前がある。

HTML(Hyper-Text Markup Language)

ホームページを作成するための言語。「タグ」と呼ばれる"<"と">"で囲まれた予約語を使って、文字の大きさや位置、画像ファイルやリンク先を指定する。HTMLファイルそのものは普通のテキストファイルであり、テキストエディタを使って編集できる。それをウェブブラウザで開くとタグの指定が読み込まれ、指定通りの文字サイズや画像が表示される。

IP(Internet Protocol)アドレス

インターネットに接続されているコンピュータを識別するために割り当てられる12桁の数字。通常インターネットでホームページを見るときには、「http://www.estore-jp.com/」のようにURLアドレスを指定するが、サーバではURLアドレスをIPアドレスに変換して、IPアドレスから目的のサーバを探し出す。常時接続されているサーバだけでなく、個人がダイヤルアップなどで一時的に接続するコンピュータにも、接続のたびにIPアドレスが割り当てられる。

ISDN(Integrated Service Digital Network)

統合デジタル通信網。電話・ファクシミリ・文字データ・画像データなどの異なる情報を全てデジタル化して統合的に扱えるようにしたネットワーク。デジタル化するため送信中に情報が劣化しない、アナログ回線に比べて高速、などの特徴がある。日本では1988年からNTTが「INSネット」というISDNサービスを提供している。

POP3サーバ

インターネット上でメールを受信するためのサーバ。インターネットでは一般的に、メールの受信に「POP3(Post Office Protocol version3)」という手順を利用するため、この名がある。プロバイダによっては、「IMAP4(Internet Message Access Protocol 4)」という手順が受信に使われている場合もある。

POP before SMTP
メール送信時のユーザ認証方法の一つ。メール送信の前にまず受信操作を行い、POPサーバでユーザ認証を行う。そこで認証を受けたユーザだけが、その後の一定時間、SMTPサーバにアクセスして送信を行うことができる。メールサーバの不正使用を防止する目的で考案された。

SMTP Authentication
メール送信時のユーザ認証方法の一つ。メールを送信する時に、まずSMTPサーバでユーザ認証を行い、認証が完了するとはじめて送信ができる。メールサーバの不正使用を防止する目的で考案された。
このユーザ認証方法を利用するためには、メールサーバ・メールソフトの両方がSMTP Authenticationに対応している必要がある。

SMTPサーバ
インターネット上でメールを送信するためのサーバ。インターネットでは一般的に、メールの送信に「SMTP(Send Mail Transfer Protocol)」という手順を利用するため、この名がある。

SSI(Server Side Include)
htmlファイルの中に埋め込まれたプログラムを、ウェブサーバ上で実行させる機能。アクセスカウンターや時刻表示などに利用される。CGIと似ているが、サーバ側のデータが直接外部に流れるため、セキュリティ管理が必須とされる。

SSL(Secure Socket Layer)
インターネット上で送信するデータを暗号化するための技術。SSLを利用したページでは、送信前にユーザのコンピュータとサーバとの間で「鍵」を取り交わしてから、データを暗号化して送信する。送信データは、「鍵」を持っているサーバでないと暗号化を解除できないようになっているため、第三者には意味不明の文字・記号の羅列にしか見えず、安全性が確保される。

TA(Terminal Adapter)
ISDN回線にコンピュータや電話・ファクシミリなどの通信機器を接続するための機器。通常、コンピュータとはシリアルケーブル(RS-232C)で、電話やファクシミリとはモジュラーケーブルで接続する。ISDN回線を使ってインターネットに接続するために必要。

UNIX
アメリカAT&T社で開発されたオペレーティングシステム。最初は大学や研究機関を中心に普及したが、その後インターネットの普及と共に企業などにも広まり、今ではインターネット上の多くのサーバに採用されている。Linux、FreeBSDなどさまざまな種類がある。

URL(Uniform Resource Locator)
インターネット上にある情報やサービスを特定するためのアドレス。プロトコル名(アクセスするための手順)://サーバ名/ディレクトリ名/ファイル名　と記述する。例えば「http://www.estore-jp.com/index.html」の場合、httpプロトコルを使って「www.estore-jp.com」というサーバにある「index.html」というファイルを呼び出すことを意味している。

アカウント
ユーザID、単にIDなどとも呼ばれる。会員制のコンピュータ・ネットワークサービスを提供する場合に、管理者が参加者に対して発行するもの。コンピュータ・ネットワークサービスを利用する権利や、サービスの課金単位のことも指す。

アクセスカウンター
ホームページのアクセス数を表示するためのカウンタ。CGIやSSIを利用することでアクセス数を数えることができる。

アップロード
クライアントコンピュータに保存されているデータを、サーバに転送・保存すること。逆に、サーバからクライアントコンピュータに転送することを「ダウンロード」という。インターネットではftp（File Transfer Protocol）という手順でデータを転送する。

インターネット接続サービスプロバイダ
インターネットサービスプロバイダ、または単にプロバイダとも呼ぶ。ユーザからのアクセスを受け付け、インターネットに接続するサービスを提供する事業者。接続だけでなく、メールアカウントの発行やホームページ開設用のディスクスペース提供などのサービスを一緒に行っていることが多い。

ウェブブラウザ
「WWWブラウザ」、または単に「ブラウザ」と呼ばれることも多い。ウェブサーバに保存されているhtmlファイルやその他のコンテンツを閲覧するためのソフト。代表的なものにMicrosoft社の「Internet Explorer」、Netscape社の「Netscape」がある。いずれも、よく閲覧するページのURLを記憶する「ブックマーク機能」や、最近閲覧したページのコピーをハードディスクに保存して再表示を速くする「キャッシュ機能」などを備えている。

オンラインマニュアル
オンラインヘルプとも呼ばれる。電子化された取扱説明書のことで、コンピュータの画面上でいつでも参照することができる。コンピュータの内部にあるハードディスクに保存されている場合もあれば、インターネット上のサーバに保存されていて、そこから呼び出す場合もある。

漢字コード
漢字やひらがな・カタカナなど、コンピュータで日本語の文字を扱うためのコード。JIS、Shift-JIS、EUCなど複数のコードがあるが、これらには互換性がない。そのため、例えばSJISで書かれたhtmlファイルをブラウザで開くときに、コードの種類をEUCに指定すると、「文字化け」と呼ばれる、文字が判読不能の記号などに変化する現象が起きる。
このような問題を解消するため、最近では「Unicord（ユニコード）」という国際的な統一コードの策定が進められている。

掲示板
電子会議室、BBS（Bulletin Board System）ともいう。ネットワーク上でメッセージをやりとりするためのシステム。掲示板へアップロード（書き込み）されたメッセージは、掲示板にアクセスした人全員が閲覧できる。それに対して他の誰かが返事を書き込んだり、また誰かが別の話題で新しく書き込んだりすることによって、多数の相手とのやりとりが可能になる。同じメッセージをやりとりするシステムにメールがあるが、メールは基本的に1対1のやりとりで、内容は当事者以外に知られない点が異なる。

サーバ
ネットワーク上で、クライアントコンピュータに対してサービスを提供するコンピュータ。提供するサービスの種類によって、ファイルサーバ・プリンタサーバなど複数のサーバがある。インターネットにおいては、メールサーバ・ウェブサーバ・ftpサーバなどが、インターネットに接続しているコンピュータに対してそれぞれのサービスを行っている。

サービスセンター【サイトサーブ】
パスワードの変更やメールアカウントの追加、ディスク容量の変更など、サイトサーブの各種サービスに関する設定を行うためのページ。ヘルプデスクページからアクセスすることができる。

サイト
サーバやその中にあるホームページなどのコンテンツ、接続しているコンピュータ、ネットワークなどを含んだシステム全体のこと。単にホームページのことを指す場合もある。

スパムメール
不特定多数の受信者に対し、受信者の意志に関係なく送信する電子メール。宣伝目的のものが多い。最近では大量送信でサーバをダウンさせたり、送信元を特定されないように第三者のサーバを不正利用して送信するなどの問題が増えてきている。なお、「スパム」はアメリカの缶詰の商品名で、商品名を連呼するCMが話題になったところからこの名がついたと言われている。

専用線接続
プロバイダが提供するインターネット接続サービスの一種。プロバイダから高速デジタル専用線などの非公衆回線を独占的に借り受け、常時インターネットに接続される。主に企業向けのサービスだが、最近は個人向けにも安価な専用線接続サービスがある。これに対し、公衆回線を使って必要な時だけインターネットに接続する「ダイヤルアップ接続」というサービスもある。

ダイヤルアップ接続
プロバイダが提供するインターネット接続サービスの一種。プロバイダが指定したアクセスポイントに、電話回線やISDNなどの公衆回線を通じて接続すると、切断までの間だけインターネットへの接続が確立する。個人向けのサービスとしては一般的な方法である。これに対し、インターネットに常時接続される「専用線接続」というサービスもある。

ダウンロード
サーバに保存されているデータを、クライアントコンピュータに転送・保存すること。これとは逆に、クライアントコンピュータからサーバに転送することを「アップロード」という。インターネットでは「ftp（File Transfer Protocol）」という手順でデータを転送する。

ドメイン（名）
インターネットに接続されているサーバを特定するための名前。通常は「サーバ名.組織名.組織種別コード.国別コード（ただしアメリカのみ国別コードがつかない）」となる。例えば「www.estore-jp.co.jp」の場合、日本の会社組織である「estore-jp」という組織の「www」というサーバを指している。
ただし、国別コードは、その国のドメイン管理団体で管理されていることを示すもので、必ずしもその組織がその国の中に存在することを示すわけではない。例えばアメリカのドメイン管理団体で管理されている「.com」や「.org」などのドメインは、アメリカ人やアメリカ国内の組織でなくても取得・利用することができる。ドメイン名は、国別にドメイン管理団体が存在し、そこで管理されている。日本ではJPNICという団体がjpドメインの管理をしている。

ネームサーバ
DNS(Domain Name System)サーバともいう。IPアドレスとドメイン名の対応表を持ち、ドメイン名から対応するIPアドレスを探し出すためのサーバ。
ブラウザでホームページを表示するにはURLアドレスを入力する必要があるが、サーバではそのURLアドレスからドメイン名の部分を取り出し、それをさらにIPアドレスに変換して目的のサーバを探し出す。ネームサーバはそのIPアドレスへの変換を受け持つサーバである。

パスワード
暗証番号ともいう。コンピュータやネットワーク、サービスなどを利用する際に、それらを利用する正統なユーザであることを示すために、あらかじめ登録しておく文字や数字。通常はユーザ名（アカウント、ID）との組み合わせで使われる。

バナー広告
単にバナーとも呼ばれる。元は「旗」「標識」の意味だが、インターネットでは、ホームページに掲載されている広告画像のことを指す。バナーからは、広告内容の詳細情報や広告を出している個人・団体のホームページなどへリンクしていることが多い。

フリーウェア
フリーソフトウェアともいう。無償で自由に利用できるソフトのこと。パソコン雑誌の付録CD-ROM、またはインターネットのダウンロードサイトで配布されていることが多い。著作権を作者が留保しており、ソフトの改変や再配布については作者が条件を定めていることがある。
同じような配布方法のソフトに「シェアウェア」があるが、有償である点がフリーウェアと異なる。

ヘルプデスクページ【サイトサーブ】
サイトサーブのサービスに関する最新情報、オンラインマニュアルやサービスセンターへのリンクなどがあるページ。URLは「http://help.(お客さまのドメイン名)/」。

メーリングリスト
特定多数のメンバーに同じメールを一斉送信するためのシステム。
普通のメールでは、複数の相手に同じメールを一斉送信するためには、宛先に全員分のメールアドレスを指定する必要がある。しかしメーリングリストの場合は、あらかじめ送信先を登録しておけば、送信者はメーリングリスト用のメールアドレス1つだけを宛先に指定して送信するだけで、そこから自動的に登録されているメールアドレスすべてに一斉送信される。仲間内の情報交換や、社内での連絡事項の伝達などに使われる。

メールソフトウェア
メールソフト、メールクライアント、メーラーとも呼ぶ。メールの作成や送受信を行うためのソフトウェア。代表的なものに、Microsoft社のOutlook Expressなどがある。

メールマガジン
メールで様々な情報を送るサービスのこと。利用者がメールマガジンの配信元に自分のメールアドレスを登録すると、メールで情報が受け取れるようになる。最近はメールマガジンの配信を請け負う業者があり、大規模な業者では数万種類のメールマガジンを配信している。利用料はメールマガジンごとに異なる。

モデム
コンピュータのデジタル信号をアナログ信号に変調／復調するための装置。
アナログ電話回線でインターネットに接続する場合、コンピュータでは情報を全てデジタル化して扱うため、そのままでは送受信できない。そのため、モデムを使って送信時にはデジタルデータをアナログ化し、受信時には逆にアナログデータをデジタル化する必要がある。

ルーター
ネットワークを相互接続するための機器。ネットワーク上の目的アドレスまでの転送経路を選択する機能(ルーティング機能)を持つ。元々は企業などでネットワーク同士を接続するために使われていたが、最近では個人向けに、複数のコンピュータをダイヤルアップ接続でインターネットに接続するための「ダイヤルアップルーター」、ADSLを使ってインターネットに接続するための「ADSLルーター」などがある

ログイン
自分の使うコンピュータとサーバを接続して、サーバとデータのやりとりができるようにすること。通常はユーザ認証を行って、ユーザだけに提供される各種サービスを受けられるようにする手続きのことをいう。サービスを終了するときにも一定の手続きがあり、これを「ログアウト」または「ログオフ」という。

ログインディレクトリ【サイトサーブ】
ftpソフトでサイトサーブのウェブサーバに接続したときに、最初に表示されるディレクトリのこと。通常は「docs」ディレクトリ。

6. 目的別インデックス

ここでは、「メール送信」「掲示板の設置」など、
目的別にマニュアルの参照先がわかるようになっています。

5-1 メール関連

項目			ページ	
■メールを作成する	メールソフトで	Windowsで	メール編	22
		Macintoshで	メール編	29
	ブラウザで		メール編	35
■メールを送信する	メールソフトで	Windowsで	メール編	22
		Macintoshで	メール編	29
	ブラウザで		メール編	35
■メールを受信する	メールソフトで	Windowsで	メール編	23
		Macintoshで	メール編	30
	ブラウザで		メール編	34
■メールソフトの設定をする		Windowsで	メール編	15
		Macintoshで	メール編	25
■メールソフトの設定に必要な情報を調べる			メール編	47
■ウェブメール画面にアクセスする			メール編	31
■メールの転送設定をする	自分のメールアドレス		メール編	50
	webmaster@,postmaster@,info@		管理者編	20
■メールの自動削除設定をする			メール編	54
■メールの自動返信設定をする	自分のメールアドレス		メール編	52
	info@		管理者編	22

5-2 ホームページ作成関連

項目			ページ	
■ホームページを作成する	ホームページ作成ソフトで		管理者編	54
	テキストエディタで		管理者編	58
■作成したホームページをブラウザで表示する			管理者編	59
■作成したホームページをインターネット上に公開する	ホームページ作成ソフトのftp機能で		管理者編	71
	ftpソフトで	Windowsで	管理者編	72
		Macintoshで	管理者編	76
■ftpソフトの設定に必要な情報を調べる			管理者編	67
■ホームページにSSLを利用する			管理者編	65

5-3 CGI関連

項目		ページ	
■サイトサーブで用意されているCGIプログラムを利用する	フォームメール	管理者編	96
	フォームファイル	管理者編	99
	掲示板	管理者編	102
	アクセスカウンタ	管理者編	92
■プログラム作者提供のCGIプログラムの紹介を読む		管理者編	105
■自作CGIプログラムの利用に必要な情報を調べる		管理者編	107
■SSIの利用に必要な情報を調べる		管理者編	107

5-4 サイト管理

項目	ページ	
■アクセスログを見る	管理者編	33
■ディスク容量を追加する	管理者編	43
■SSLの利用申請をする	管理者編	46
■SSLの利用申請を解除する	管理者編	47
■メーリングリストのメンバーを追加する	管理者編	25
■メーリングリストのメンバーを削除する	管理者編	26
■一般ユーザのメールアドレスを追加する	管理者編	17
■一般ユーザのメールアドレスを削除する	管理者編	18
■特定のディレクトリにアクセス制限をする	管理者編	37
■ウィルスフィルタを設定する	管理者編	27
■ウィルスフィルタの設定を解除する	管理者編	27